

お お ら い の り よ し

生頼範義 展

THE ILLUSTRATOR



奇跡を体感せよ！

一般社団法人生頼範義記念みやざき文化推進協会／特定非営利活動法人 宮崎文化本舗／東映株式会社

2017年4月



はじめに

1

世界的イラストレーターとして活躍した、生頼範義（1935年 兵庫県明石市生まれ）。生頼氏は、1957年東京芸術大学油絵科を中退後、1962年、イラストレーターとして活動を開始。1973年妻の故郷宮崎へ居を移します。1980年、SF雑誌に発表した「スター・ウォーズ」のイメージ画がきっかけとなり、その続編ポスター用イラストを正式に依頼されます。そして制作した「スター・ウォーズ／帝国の逆襲」の国際版ポスターのイラストが高い評価を得て、海外でも名を知られるようになります。同年、第11回星雲賞アート部門を受賞。映画では「FUTURE WAR 198X年」「ゲーニーズ」の他、1984年から「ゴジラ」シリーズを手掛け2004年「ゴジラFINAL WARS」がシリーズ最終作となるまでポスターを担当します。近作では2006年の「日本沈没」が記憶に新しい。小説では平井和正の「ウルフガイ」「幻魔大戦」、小松左京の「復活の日」他、吉川英治、清水一行、大藪春彦のカバーなど多数。他に光栄のゲーム「信長の野望」「三国志」他、シリーズのパッケージイラストを手掛けています。

2013年11月6日には、宮崎県文化賞芸術部門を受賞。2014年2月8日～3月23日開催の生頼範義展には県内外から15000人を越す観客を動員。同年10月23日平成26年度文化庁映画賞（映画功労部門）を受賞しました。惜しまれながら2015年10月27日他界した生頼氏。2016年4月22日には日本SF大賞功績賞を受賞され、7月10日には第55回星雲賞アート部門を受賞しました。本展覧会では秘蔵のイラスト作品とアトリエに眠る油彩画を多数展示予定。真正なる画家となることを自らに課し、半世紀にわたる習練と研鑽の果てにたどり着いた画境を展覧いたします。



「THE MAKING OF GODZILLA 1985 東宝ゴジラ特撮全記録」
描き下ろしポスター／1985／TM©TOHO CO.,LTD.



映画秘宝「スター・ウォーズ／エピソード1」表紙 1999
©& TM Lucasfilm Ltd.



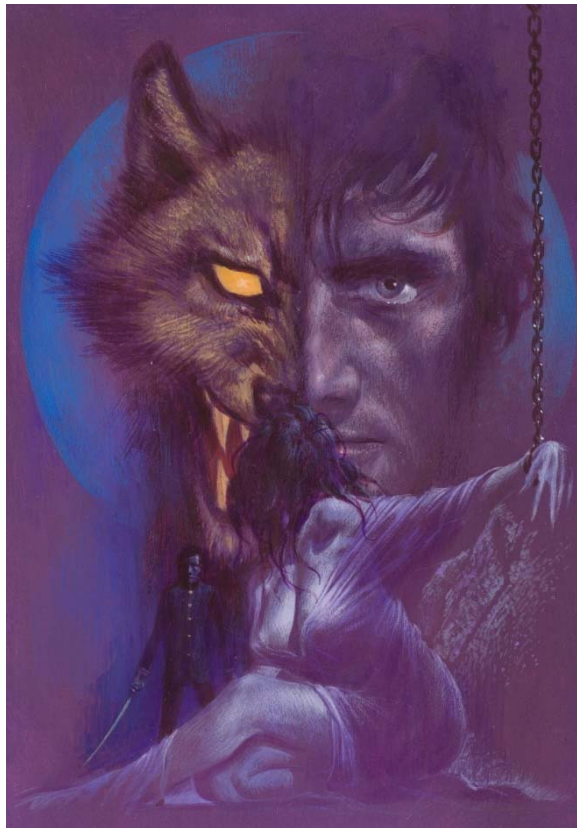
「宮本武蔵 第1巻」表紙(吉川英治)1970



生頼範義と平井和正

2

青い月を背景に顔の右半分を狼、左半分を人間として描かれたのは、『ウルフガイ・シリーズ』の主人公、犬神明。平井は「生頼さんの描く犬神明以外考えられない」と書いたほどに生頼の仕事への信頼は厚かった。二人のコラボレーションは「幻魔大戦」へと続く一。



「狼の紋章」／早川書房／1971



「平井和正の幻魔宇宙」／徳間書店／1983



「アンドロイドお雪」／角川書店／1975



「第二次幻魔宇宙ハルマゲドン」／徳間書店／1987



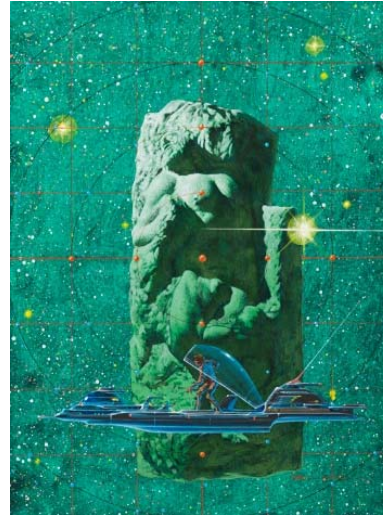
生頼範義と小松左京

3

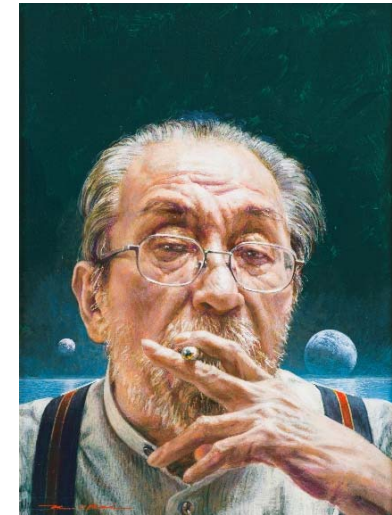
1972年に刊行された『復活の日』（早川書房）の装画を見た小松は「この絵を描いたのは日本人か？嘘だろう！」と叫んだという。1980年に『復活の日』が映画化された際のストーリーボードや、2006年の『日本沈没』再映画化によるポスターと長く続いたが、最後となったのが2008年の同人誌の表紙として描いた肖像画であった。



「復活の日」／早川書房／1972



「果しなき流れの果に」／早川書店／1973



「小松左京マガジン」／2008



「復活の日」イメージスケッチ／映画復活の日実行委員会
／1980／©1980角川映画・東京放送



「御先祖様万歳」／角川書店／1978年



「怨霊の国」／角川書店／1977年



生頼範義と吉川英治

1966年、講談社創立60周年を記念して刊行された吉川英治全集『三国志』新聞広告のため生頼は6人の英雄たちのイラストを描いた。朝日新聞に掲載された点描画の全面広告が話題をさらい、生頼の描いた英雄たちが人々に広く認知された。

「吉川英治全集」新聞広告／講談社／1966



「宮本武蔵 第1巻」／六興出版／1970



「三国志 第1巻」新装版／六興出版／1975



「私本太平記 第1巻」新装版／六興出版／1975



生頼範義と映画

1980年、『スター・ウォーズ／帝国の逆襲』の国際版ポスターを担当、『マッド・マックス2』『ゲニーズ』や、「南極物語」等のヒット作を次々と手掛ける。1984年からの『ゴジラ』のポスターを描き後の平成ゴジラシリーズを担当することとなった。



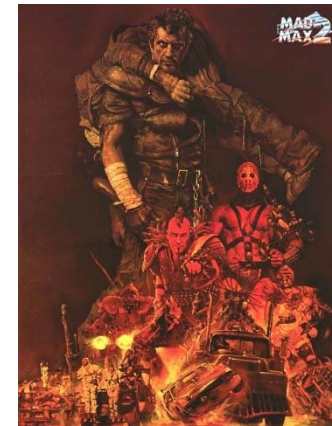
「スター・ウォーズ／帝国の逆襲」／1980／©& TM Lucasfilm Ltd.



「南極物語」／1983／
©フジテレビ・学研・蔵原プロ



「ゲニーズ」／1985／
©Warner Bros. All Rights Reserved



「マッドマックス2」／ワーナー／1982／
©1982Warner Bros. Entertainment Inc



「ゴジラvsメカゴジラ」／1993／
東宝／TM&©TOHO CO., LTD.



「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」／1988／
松竹／1988©創通・サンライズ



「メテオ」／1977
日本ヘラルド映画



生頼範義と91人の美姫

6

徳間書店から刊行された『SFアドベンチャー』が1980年月刊誌化されるのを機に生頼が表紙を担当することになった。生頼は語った。『神話時代から現代まで、魔女のような存在はどうだろうかと考えている。イヴから始まって、できればケネディ大統領夫人のジャクリーンあたりまでどうだろうか』



「SFアドベンチャー1980年6月号」イヴ／徳間書店



「SFアドベンチャー1984年9月号」パウリナ／徳間書店



「SFアドベンチャー1987年12月号」
マリー・ド・ブランヴィリエ／徳間書店



生頼範義と戦記・戦史

7

生頼は幼いころに戦争を体験している。爆弾の炎で眼の前の人間が一瞬に焼かれて消えた。大火に包まれた明石の大空襲で幼い生頼が逃げながら見たもの。今も世界のどこかで行われている不条理な殺戮、人間が人間をむごく傷つける行いを知るたびに心の底からわき上がる強烈な思いを筆に込めたのかもしれない。



「丸スペシャル第107号」大和水上特攻／潮書房光人社／1986



「ガンビアベイ」プラモデル／ハセガワ／2010



「零戦—日本海軍航空小史」／朝日ソノラマ／1997



「丸スペシャル第110号」潜水艦作戦／潮書房光人社／1986



「丸スペシャル1984年10月号」ハワイ作戦／徳間書店



生頼範義オリジナル作品

8

1984年の仕事量がピークに達した生頼だが、依頼された仕事以外の作品制作も欠かすことはなかった。「DAKTO TO 1967(ベトナム)」は戦禍の中で撮影された写真をもとにしており、背景だけでなく生身の兵士を骸骨と化して描いた。



「DAKTO TO 1967(ベトナム)」／月刊ブレイン／1977



「CHONG QING(重慶)1941」／1979



「DASHT・E・KAVIR1980(イラン)1980」／1980



「我々の所産」1997



「真正なる画家」を志した生頼範義

9

自らを「肉体労働者」と称し、クライアントからの依頼に応えプロのイラストレーターとして3,000点以上の作品を描く一方で生頼は、誰からの依頼でもない油彩画を数多く描いていた。

薩摩川内市歴史資料館に寄贈された「破壊される人間」を代表とする一連の作品は、文字通り戦火によって破壊されていく人間の肉体と生命が生々しく描かれている。世界中でテロや内戦が勃発する現代に生きる私たちに生頼氏が遺したメッセージともいえる作品群を本展覧会で展示いたします。



破壊される人間のための習作／1980年頃



展覧会概要（予定）

10

- 会 期：平成30年1月6日（土）～平成30年2月4日（日）
- 開館時間 10：00～18：00（展示室入場は17：30まで）
- 会 場：上野の森美術館
- 主 催：特定非営利活動法人 宮崎文化本舗
一般社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会
上野の森美術館
- 特別協力：鹿児島県立川内高等学校 可愛山同窓会
- 協力（予定）
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社、株式会社潮書房光人社、株式会社学研プラス、
株式会社KADOKAWA、株式会社祥伝社、株式会社中央公論新社、株式会社円谷プロダ
クション、株式会社東京創元社、東宝株式会社、株式会社徳間書店、株式会社早川書房、
ワーナーブラザーズジャパン合同会社
- 展示作品：イラストレーション原画 231点
デッサン 6点／油彩 12点
- 展示資料：印刷物 59点／資料書籍 673点

問い合わせ先：一般社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会
〒880-0014 宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス1F
特定非営利活動法人 宮崎文化本舗 内
電話番号, 0985-60-3911. FAX, 0985-89-4979.
URL <http://ohrai.net/>
電子メール office@bunkahonpo.or.jp

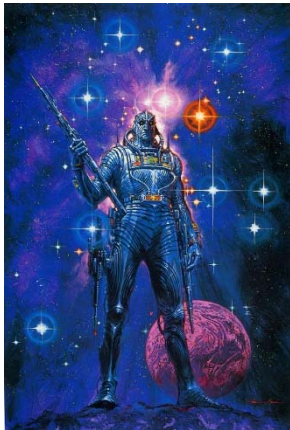




生頼範義 展 コラボ企画案

11

- 寺田克也×竹谷隆之！人気アーティストによる生頼「ベガ」の立像を制作&展示。
生頼氏が「幻魔大戦」で描いたロボット「ベガ」を現代の人気アーティストが制作！
コラボ企画として会場内に展示します。



生頼氏が描いたベガ
展示品は胸像になる予定



寺田克也氏



竹谷隆之氏

- 人気アーティストによる「アーティスト・トーク」を毎週末に実施。開催期間中の週末には「生頼アート」を熱く語るトークを週替わりで開催。樋口真嗣監督他有名アーティストを現在調整中！
- 「生頼範義 展を成功させる会」決起大会を2017年8月上旬に開催予定。生頼ワールドに魅了された人々が集結し、2018年1月の開催に向けてのキックオフ・イベントを行います。



動員目標 3万5000名

※ 動員の目安は、2014年2月に宮崎市(人口約40万人)で開催した1回目の企画展の動員(1万6000人)の約3倍で想定。

経費に関しては現在算出中

課題

※ 宮崎市で開催した時は、UMKテレビ宮崎、MRT宮崎放送、宮崎日日新聞社が実行委員会の構成員となり十分な告知を行うことができた。上野の森美術館で開催する場合においても、十分な告知がどこまでできるかによって動員が左右される。

※宮崎市で開催した際の入場者アンケートで、宮崎県外から来場した観客は全体の25%であった。十分な告知を行うことで首都圏及びその近郊在住の潜在的な「生頼ファン」にどこまで事前にアピールできるかが成功の鍵となる。



展覧会を成功させるための支援者募集中

13

本展覧会を成功させるために、主催者ではご支援いただける企業・事業所を募集しております。お願いする支援内容は、出資金あるいは協賛金、又はそれに相当する御社の媒体等を活用した広報宣伝等となります。

協賛の種類	金額	内容	メリット
共催	500万円以上	共催者としてクレジット	出資額に応じて利益配分
協賛Aタイプ	300万円	特別協賛としてクレジット	招待券1000枚進呈 展示会場内にブース設置
協賛Bタイプ	100万円	協賛社としてクレジット ロゴ指定可能	招待券300枚進呈
協賛Cタイプ	50万円	協賛社としてクレジット テキストのみ	招待券100枚進呈
協賛Dタイプ	30万円	協賛社としてクレジット テキストのみ	招待券50枚進呈

詳細に関しては、一般社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会までお問い合わせください。



ご協力・ご協賛のお願い

14

2015年10月、79年の生涯に幕を下ろした生頼範義氏の大回顧展、「生頼範義展 THE ILLUSTRATOR」を開催いたします。

生頼氏は半世紀以上にわたり宮崎県のアトリエにてイラストレーションを描き続けその作品は国内のみならず、国際的にも高い評価を得ています。

デジタル技術が普及した現在、筆で描くイラストレーションが制作されることが少なくなりましたが、生頼氏は生涯、自らの手と筆を駆使し、万人を魅了する多くの作品を描き続け、3,000点を超える作品を遺されました。本展においては、1960年代から2000年代、そして晩年にいたる作品の中から選りすぐったもの、近年になって発見された貴重な作品や、「肉体労働者」＝イラストレーターとしての仕事のかたわら、青年時代から晩年まで「真正なる画家」を志して描き続けた油彩画もあわせて200点以上の作品を展示いたします。生頼氏の作品を一堂に展示することは、氏の画業を回顧するのみならず半世紀にわたる映画、出版、広告といった文化を検証することでもあります。本展の開催にあたり多くの皆さまのご協賛・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会